We create chemistry

安全データシート

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 30.09.2026　　バージョン: 12.0
製品: **Cascade® 10 EC / カスケード乳剤**

(30333421/SDS_CPA_JP/JA)
印刷日: 01.10.2026

1. 化学品及び会社情報

品名:
Cascade® 10 EC
カスケード乳剤

用途: 農薬製品, 殺虫剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:
BASFジャパン株式会社
東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL 日本橋ビル 3階
電話番号: +81-3-5290-3000
Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:
電話番号: 03-6634-2245
+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のＧＨＳ分類】:
誤えん有害性: 区分1
皮膚腐食性／刺激性: 区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分2A
生殖毒性: 区分授乳に対するまたは授乳を介した影響
生殖毒性: 区分1B (胎児)
特定標的臓器毒性（単回暴露）: 区分3 (呼吸器系を刺激する)
水生環境有害性　短期(急性): 区分1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分1

【ＧＨＳラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:
危険

危険有害性情報:

H319	強い眼刺激。
H315	皮膚刺激。
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H362	授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H360	胎児への悪影響のおそれ。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き:

P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルをよく読むこと。

注意書き（安全対策）:

P280	保護手袋と保護衣と保護眼鏡または保護面を着用すること。
P271	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P260	粉じん／ミストを吸入しないこと。
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P263	妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
P264	取扱い後は汚染された部位をよく洗うこと。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

注意書き（応急措置）:

P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P301 + P310	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P391	漏出物を回収すること。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P331	無理に吐かせないこと。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぎ、そして再使用する場合には洗濯をすること。

注意書き（保管）:

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405	施錠して保管すること。

注意書き（廃棄）:

P501	適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

ＧＨＳ分類に関係しない又は ＧＨＳで扱われない他の危険有害性:
12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。
この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 殺虫剤, 乳剤

ＧＨＳ分類に寄与する成分

1-｛4-［2-クロロ-4-（トリフルオロメチル）フェノキシ］-2-フルオロフェニル｝-3-（2,6-ジフルオロベンゾイル）尿素

含有量 (W/W): 10 %
CAS RN: 101463-69-8

生殖毒性.: 区分（追加）: 授乳に対するまたは授乳を介した影響
水生環境有害性　短期(急性): 区分 1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 1
M-ファクター急性: 10000
M-ファクター慢性: 10000

ソルベントナフサ

含有量 (W/W): 31 %
CAS RN: 64742-94-5
化審法: (9)-1707
労働安全衛生法: (9)-1707

誤えん有害性: 区分 1
引火性液体: 区分 4
皮膚腐食性／刺激性: 区分 2
特定標的臓器毒性（単回暴露）: 区分 3 (眠気とめまい)
水生環境有害性　短期(急性): 区分 2
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 2

1-メチル-2-ピロリドン

含有量 (W/W): >= 15 % - < 25 %
CAS RN: 872-50-4
化審法: (5)-113
労働安全衛生法: (5)-113

引火性液体: 区分 4
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A
生殖毒性.: 区分 1B (胎児)
急性毒性: 区分 5 (経口)
特定標的臓器毒性（単回暴露）: 区分 3 (呼吸器系を刺激する)
皮膚腐食性／刺激性: 区分 2

２-メチルナフタレン

含有量 (W/W): >= 5 % - < 15 %
CAS RN: 91-57-6
化審法: (4)-80
労働安全衛生法: (4)-80

急性毒性: 区分 4 (経口)
水生環境有害性　短期(急性): 区分 2
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 2

1-メチルナフタレン

含有量 (W/W): >= 1 % - < 10 %
CAS RN: 90-12-0
化審法: (4)-80
労働安全衛生法: (4)-80

誤えん有害性: 区分 1
急性毒性: 区分 4 (経口)
水生環境有害性　短期(急性): 区分 2
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 2

ビフェニル

含有量 (W/W): >= 1 % - < 2 %
CAS RN: 92-52-4
化審法: (4)-13
労働安全衛生法: (4)-13

急性毒性: 区分 5 (経口)
急性毒性: 区分 5 (経皮)
皮膚腐食性／刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A
特定標的臓器毒性（単回暴露）: 区分 3 (呼吸器系を刺激する)
水生環境有害性　短期(急性): 区分 1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 1
M-ファクター急性: 1
M-ファクター慢性: 1

2,4-ジメチル-1-（1-フェニルエチル）ベンゼン
含有量 (W/W): < 2 %
CAS RN: 6165-52-2
化審法: (4)-244
労働安全衛生法: (4)-244

1,4-ジメチル-2-（1-フェニルエチル）ベンゼン
含有量 (W/W): < 2 %
CAS RN: 6165-51-1
化審法: (4)-244
労働安全衛生法: (4)-244

水生環境有害性　短期(急性): 区分 1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 1
M-ファクター急性: 1
M-ファクター慢性: 10

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン
含有量 (W/W): < 2 %
CAS RN: 6196-95-8
化審法: (4)-244
労働安全衛生法: (4)-244

ナフタレン
含有量 (W/W): < 0.3 %
CAS RN: 91-20-3
化審法: (4)-311
労働安全衛生法: (4)-311

可燃性固体: 区分 2
急性毒性: 区分 4 (経口)
発がん性: 区分 2
水生環境有害性　短期(急性): 区分 1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 1
M-ファクター急性: 1
M-ファクター慢性: 1

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:
救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。 患者が意識を失いそうになったら、横向き（回復体位）で安静に寝かせ、搬送する。 汚れた衣服は直ちに取り替える。

[吸入した場合]:
安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:
直ちに水と石鹸で十分に洗い流し、医者の診察を受ける。

[眼に入った場合]:
直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:
直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。 誤嚥(飲食物や唾液が誤って気管に入って しまうこと)のおそれがあるため、吐かせないこと。

[医師に対する特別な注意事項]:
症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。, (他の)症状や影響については現時点で知られていない。
処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:
二酸化炭素, 泡, 粉末, 噴霧水

[使ってはならない消火剤]:
棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:
一酸化炭素, 二酸化炭素, 塩化水素, フッ化水素, 窒素酸化物, 硫黄酸化物, ハロゲン化合物
火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:
自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

[追加情報]:
火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。 火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。 汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。 汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:
蒸気／スプレーを吸入しないこと。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:
土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
小量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する（例：砂、おが屑、珪藻土）。
大量の場合: せき止める。 ポンプで容器に回収する。
廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。 水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。 法令に従って吸着剤を廃棄すること。 適切な保護装置をつけること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。 作業場の換気を十分に行う。 使用時には飲食または喫煙をしないこと。 休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項:
蒸気は空気中で爆発性の混合物を形成する可能性がある。 静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。
保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。 直射日光を避ける。

保管安定性:
保管期間: 48 月

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ビフェニル, 92-52-4;
TWA（time weighted average：時間加重平均） 0.2 ppm (ACGIHTLV)
TWA（time weighted average：時間加重平均） 3 mg/m3 (濃度基準値(安衛則 第577条の2第2項))
施行日: 2024年4月1日

1-メチル-2-ピロリドン, 872-50-4;
TWA（time weighted average：時間加重平均） 4 mg/m3；1 ppm (日本産業衛生学会 許容濃度)
経皮吸収の表示 (日本産業衛生学会 許容濃度)
本物質は皮膚を通して吸収される。
TWA（time weighted average：時間加重平均） 1 ppm (濃度基準値(安衛則 第577条の2第2項))
施行日: 2026年10月1日

ソルベントナフサ, 64742-94-5;

1-メチルナフタレン, 90-12-0;
(日本産業衛生学会 許容濃度)
本規制の対象であるが、データ値なし。詳細については、規制を参照のこと。
TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.05 ppm (ACGIHTLV)
経皮吸収の表示 (ACGIHTLV)
経皮吸収の危険性
(ACGIHTLV)
TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.3 mg/m3 (濃度基準値(安衛則 第577条の2第2項))
施行日: 2026年10月1日

2-メチルナフタレン, 91-57-6;
TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.5 ppm (ACGIHTLV)
経皮吸収の表示 (ACGIHTLV)
本物質は皮膚を通して吸収される。
(日本産業衛生学会 許容濃度)
本規制の対象であるが、データ値なし。詳細については、規制を参照のこと。
(ACGIHTLV)
経皮吸収の表示 (ACGIHTLV)
経皮吸収の危険性
TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.05 ppm (ACGIHTLV)

【保護具】

[呼吸用保護具]:
低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具： 有機・無機・酸性無機・アルカリ性化合物のガス／蒸気および有毒粒子用の複合フィルター（例：EN 14387 タイプ ABEK-P3）

[手の保護具]:
長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること）：ニトリルゴム（0.4 mm）、クロロプレンゴム（0.5 mm）、ブチルゴム（0.7 mm）など。

[眼の保護具]:
サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル)（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:
作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合はEN 14605に準拠、飛沫の場合はEN ISO 13982に準拠。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:
最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。 作業服は、他の物と分けて保管すること。 食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体	
色:	黄色	
臭い:	特異臭	
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。	
pH:	約 4.5 - 6.5 (20 %(m), 20 ° C) （水溶液として）	
融点:	製品は未試験である。	
沸点:	204 ° C (1,013 mbar)	
引火点:	112 ° C	(ASTM D93)
蒸発率:	適用せず	
可燃性 (固体/ガス):	適用せず	
爆発下限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。	
爆発上限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。	
自然発火温度:	約 > 400 ° C 情報は溶媒に適用される	
熱分解:	通常の取扱い条件下で危険分解物なし。	
爆発危険有害事項:	爆発性なし。	
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	

蒸気圧:	約 0.03 hPa (20 ° C) 情報は溶媒に適用される
密度:	約 1.07 g/cm3 (20 ° C)
相対ガス密度（空気）:	適用せず
水に対する溶解性:	エマルジョンを形成
n - オクタノール/水分配係数（log Pow）:	混合物には適用されない
粘度:	約 1.661 mPa.s (25 ° C) 情報は溶媒に適用される

その他の情報:
必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

<u>粒子特性</u>

粒度分布:	物質/製品は固体や粒状以外の形状で流通もしくは使用されない。 -

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
製品安全データシートの第７項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解:	通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:
強塩基, 強酸, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:
通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:
製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:
LD50（半数致死量）ラット (経口): > 2,000 mg/kg
死亡なし

急性皮膚毒性

LD50（半数致死量） ラット (経皮): > 2,000 mg/kg
死亡なし

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。 吸入による毒性は実質上なし。 単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

記載物質に関する情報： 1-｛4-［2-クロロ-4-（トリフルオロメチル）フェノキシ］-2-フルオロフェニル｝-3-（2,6-ジフルオロベンゾイル）尿素

急性吸入毒性

実験または計算によるデータ:
LC50（半数致死濃度） ラット (吸入による): > 5.4 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)
死亡なし 粉塵エアロゾルとして試験された。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。 (他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:
皮膚接触により刺激を生じる。 眼に入ると、刺激する。

実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性あり。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性あり。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
皮膚感作の可能性に関する証拠はない。

実験または計算によるデータ:
モルモット: 感作性なし

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。 変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 1-｛4-［2-クロロ-4-（トリフルオロメチル）フェノキシ］-2-フルオロフェニル｝-3-（2,6-ジフルオロベンゾイル）尿素
発がん性の評価:
動物実験における腫瘍の誘発は、可逆的であるため、閾値の存在する非遺伝性であった。 この物質の低濃度での単回もしくは短期間の曝露の後で、発癌性の可能性は、基本的に除外できる。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 1-メチル-2-ピロリドン
生殖毒性の評価:
動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。動物試験で示されるように、この製品は、他の毒性効果の原因となるような繰り返しの高曝露の後、精巣に障害を与える可能性がある。

発生毒性

催奇形性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 1-｛4-［2-クロロ-4-（トリフルオロメチル）フェノキシ］-2-フルオロフェニル｝-3-（2,6-ジフルオロベンゾイル）尿素
催奇形性の評価:
動物実験では、発生毒性／催奇形性は認められなかった。 授乳を通じて子供に害を及ぼす可能性がある。

記載物質に関する情報： 1-メチル-2-ピロリドン
催奇形性の評価:
この物質は動物実験では発生毒性/催奇形性作用を示した。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

気道を刺激する可能性がある。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 1-｛4-［2-クロロ-4-（トリフルオロメチル）フェノキシ］-2-フルオロフェニル｝-3-（2,6-ジフルオロベンゾイル）尿素
反復投与毒性の評価:
高用量の反復摂取により、この物質は、メトヘモグロビン生成の原因になる可能性がある。

記載物質に関する情報： 1-メチル-2-ピロリドン
反復投与毒性の評価:
反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。 この物質は、高用量での反復吸入により睾丸に障害を与える可能性がある。

誤えん有害性

飲込むこと（嚥下危険）により、肺にも障害を与える可能性がある。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

魚類に対する毒性:
LC50（半数致死濃度） (96 h) 5.4 mg/l, コイ（学名：Cyprinus carpio）

水生無脊椎動物:
EC50 (48 h) 0.092 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna）

水生植物:
EC50 (72 h) 18 mg/l, 藻類

記載物質に関する情報： 1-｛4-［2-クロロ-4-（トリフルオロメチル）フェノキシ］-2-フルオロフェニル｝-3-（2,6-ジフルオロベンゾイル）尿素
魚類に対する慢性毒性:
無影響濃度 (34 日) > 0.00082 mg/l, ファットヘッドミノー（学名：Pimephales） (流水式)

記載物質に関する情報： 1-｛4-［2-クロロ-4-（トリフルオロメチル）フェノキシ］-2-フルオロフェニル｝-3-（2,6-ジフルオロベンゾイル）尿素
水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
無影響濃度 (21 日),< 0.00003 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna）

移動性

環境区分間の輸送評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 1-｛4-［2-クロロ-4-（トリフルオロメチル）フェノキシ］-2-フルオロフェニル｝-3-（2,6-ジフルオロベンゾイル）尿素
環境区分間の輸送評価:
水面から大気中に揮発しない。
土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 1-｛4-［2-クロロ-4-（トリフルオロメチル）フェノキシ］-2-フルオロフェニル｝-3-（2,6-ジフルオロベンゾイル）尿素
生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
容易に生分解性されない（OECD基準による）

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 1-｛4-［2-クロロ-4-（トリフルオロメチル）フェノキシ］-2-フルオロフェニル｝-3-（2,6-ジフルオロベンゾイル）尿素
生体蓄積性:
生物濃縮係数: 25,720, ニジマス（学名：Oncorhynchus mykiss）
生体への蓄積はあると考えられる。

［追加情報］

その他の環境毒性情報:
前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:
使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

国連番号もしくはID番号:	UN 3082
品名（国連輸送名）:	環境有害性物質(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)（フルフェノクスロン，ソルベントナフサ）
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	9，EHSM
容器等級:	III
環境有害性:	該当
使用者への特別注意事項:	知見なし

海上輸送 IMDG		**Sea transport** IMDG	
国連番号もしくはID番号:	UN 3082	UN number or ID number:	UN 3082
品名（国連輸送名）:	環境有害性物質(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)（フルフェノクスロン，ソルベントナフサ）	UN proper shipping name:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (FLUFENOXURON, SOLVENT NAPHTHA)
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	9，EHSM	Transport hazard class(es):	9，EHSM
容器等級:	III	Packing group:	III
環境有害性:	該当 海洋汚染物質: 該当	Environmental hazards:	yes Marine pollutant: YES
使用者への特別注意事項:	EmS: F-A; S-F	Special precautions for user:	EmS: F-A; S-F

航空輸送 IATA/ICAO		**Air transport** IATA/ICAO	
国連番号もしくはID番号:	UN 3082	UN number or ID number:	UN 3082
品名（国連輸送名）:	環境有害性物質(液	UN proper shipping	ENVIRONMENTAL

	体)(他に品名が明示されているものを除く。)(フルフェノクスロン, ソルベントナフサ)	name:	LY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (FLUFENOXURON, SOLVENT NAPHTHA)
国連分類(輸送における危険有害性クラス):	9, EHSM	Transport hazard class(es):	9, EHSM
容器等級:	III	Packing group:	III
環境有害性:	該当	Environmental hazards:	yes
使用者への特別注意事項:	知見なし	Special precautions for user:	None known

IMO機器によるバルクの海上輸送

海上のバルク輸送は目的としない。
指針番号: 171

Maritime transport in bulk according to IMO instruments

Maritime transport in bulk is not intended.

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

[追加情報]
5 L以下の正味量を含むパッケージの製品には、次の規定が適用される場合がある。
ADR、RID、ADN：特別規定375;
JT/T617.3;
IMDG：2.10.2.7;
IATA：A197;
TDG：特別規定99（2）;
49CFR: セクション171.4 (c) (2)

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 非水溶性

ソルベントナフサ
1-メチル-2-ピロリドン
２-メチルナフタレン
1-メチルナフタレン
ビフェニル
ナフタレン
労働安全衛生法
通知対象物

ソルベントナフサ
1-メチル-2-ピロリドン

２-メチルナフタレン
1-メチルナフタレン
ビフェニル
労働安全衛生法
表示対象物

ソルベントナフサ
労働安全衛生法
第3種有機溶剤

1-メチル-2-ピロリドン
化審法
優先評価化学物質
通し番号：136

2,4-ジメチル-1-（1-フェニルエチル）ベンゼン
1,4-ジメチル-2-（1-フェニルエチル）ベンゼン
ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン
化審法
優先評価化学物質
通し番号：220

ナフタレン
化審法
優先評価化学物質
通し番号：76

労働安全衛生法 がん原性物質(安衛則第557条の2第3項)
ビフェニル

皮膚等障害化学物質等(労働安全衛生規則第594条の2)
1-メチル-2-ピロリドン
２-メチルナフタレン
1-メチルナフタレン
ビフェニル

1,4-ジメチル-2-（1-フェニルエチル）ベンゼン
労働安全衛生法
通知対象物

1,4-ジメチル-2-（1-フェニルエチル）ベンゼン
労働安全衛生法
表示対象物

化学物質名又は元素名	化学物質排出把握管理促進法 (2023年4月1日以降)		
	含有量 (%)	分類, 管理番号	政令名称
1-メチル-2-ピロリドン	20	第1種指定化学物質, 746	Ｎ－メチル－２－ピロリドン

2-メチルナフタレン	10	第1種指定化学物質, 438	メチルナフタレン
フルフェノクスロン	10	第2種指定化学物質, 765	１－［４－［２－クロロ－４－（トリフルオロメチル）フェノキシ］－２－フルオロフェニル］－３－（２，６－ジフルオロベンゾイル）尿素
1-メチルナフタレン	5.6	第1種指定化学物質, 438	メチルナフタレン
2,4-ジメチル-1-(1-フェニルエチル)ベンゼン	1.2	第1種指定化学物質, 653	ジメチル（１－フェニルエチル）ベンゼン
1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	1.2	第1種指定化学物質, 653	ジメチル（１－フェニルエチル）ベンゼン
ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン	1.2	第1種指定化学物質, 653	ジメチル（１－フェニルエチル）ベンゼン
ビフェニル	1.1	第1種指定化学物質, 340	ビフェニル

その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

16. その他の情報

中毒の緊急問合せ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター; 072-727-2499(一般市民向け受信相談(情報料無料)(大阪)), 072-726-9923(医療機関専用有料電話(1件につき2,000円)(大阪)), 029-852-9999(一般市民向け受信相談(情報料無料)(つくば)), 029-851-9999(医療機関専用有料電話(1件につき2,000円)(つくば))

【JIS Z 7252/7253： 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。